

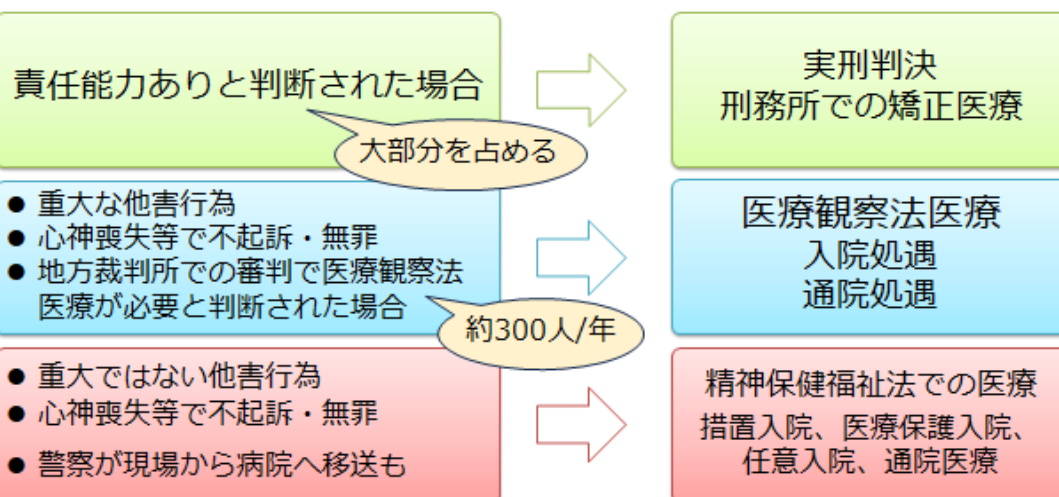
2025/9/13
犯罪被害者支援シンポジウム

触法精神障害者の治療現場から

北海道大学病院附属 司法精神医療センター
賀古 勇輝

Forensic Psychiatry Center, Hokkaido University Hospital

触法精神障害者に対する医療



医療観察法指定入院医療機関

35施設、計856床
(R7年4月1日現在)

(厚労省HPより引用・追記)
() 内は病床数



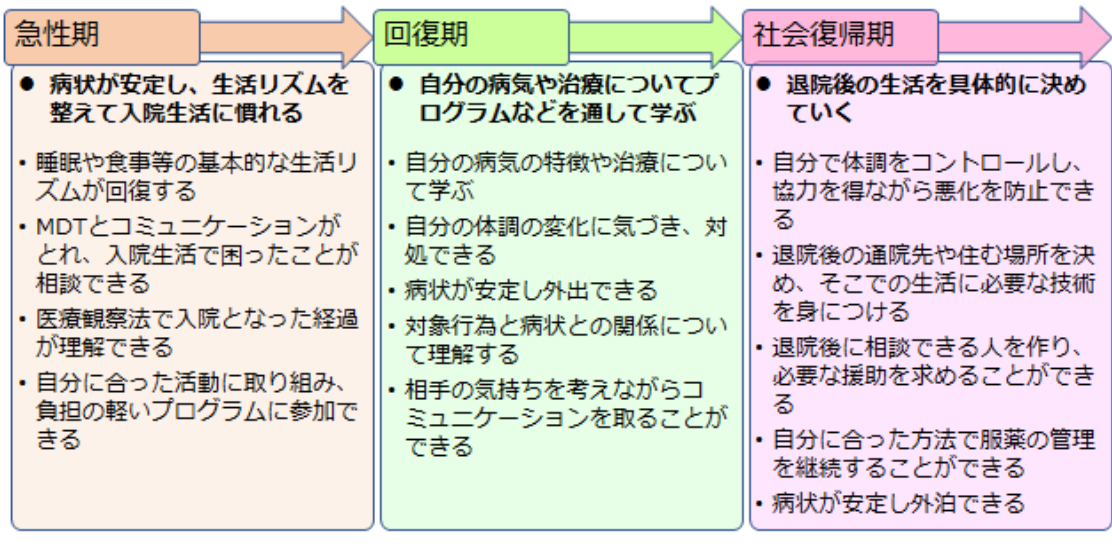
北海道大学病院附属 司法精神医療センター

Forensic Psychiatry Center, Hokkaido University Hospital

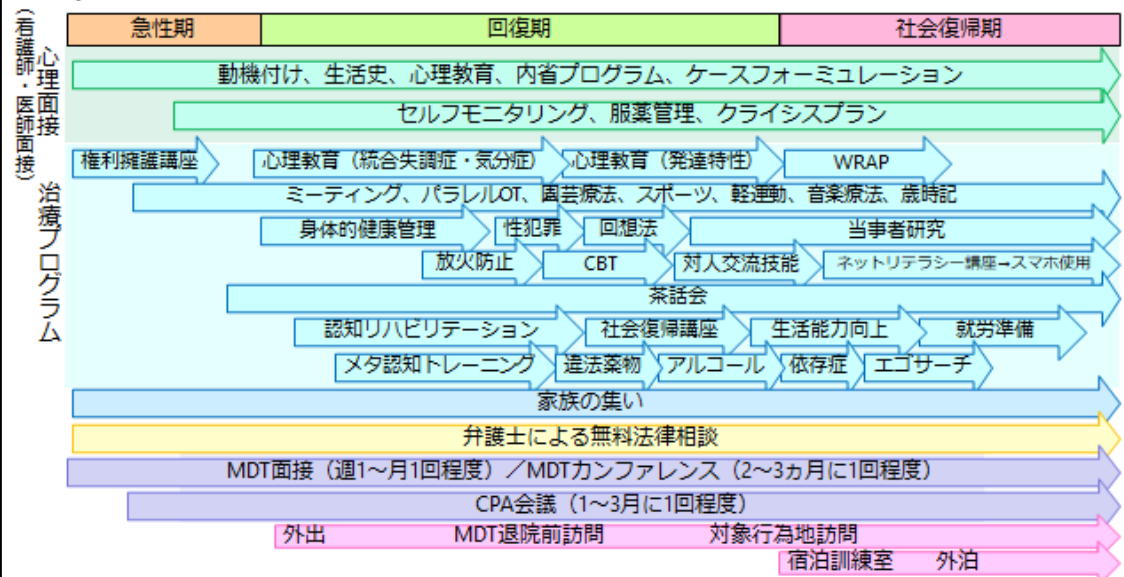
- 北大病院本院から約4.5km離れた東区東苗穂に分院として設置
- 病棟：3階建
 - 1階：作業療法室、カンファレンス室、宿泊訓練室、スタッフルームなど
 - 2階：病室（20床+予備3床）、ホール、スタッフステーション
 - ・急性期ユニット：5床（うち準保護室2）+保護室1床
 - ・回復期ユニット：8床
 - ・社会復帰期ユニット：6床
 - ・共用ユニット：4床
 - 3階：体育館
- 人員配置数
 - 医師：教官2名、医員2名（1名欠員）、専攻医1～2名
 - 看護師：30名
 - 作業療法士：3名、精神保健福祉士：3名、心理士：2名
 - 薬剤師：1名
- 稼働開始：令和4年（2022年）4月

医師・看護師の配置は
一般的な精神病床の約6倍

当センターの各ステージの目標



当センターの治療プログラム



当センターの目標

1. 患者さんを大切にし、安心感を持ってもらえる病棟を目指します。
2. 多職種チームで患者さんを深く理解し、治療共同体を通して信頼関係を築き、穏やかな生活を取り戻すための支援を行います。
- 3. 被害者・家族・社会それぞれの視点を忘れずに医療観察法に基づく医療を実践します。**
4. 医療の透明性を保ち、地域精神医療・精神保健福祉と互いに高め合える連携を目指します。
5. 大学病院の医療観察法病棟として質の高い医療を開発・実践し、司法精神医療を担う人材を育てます。

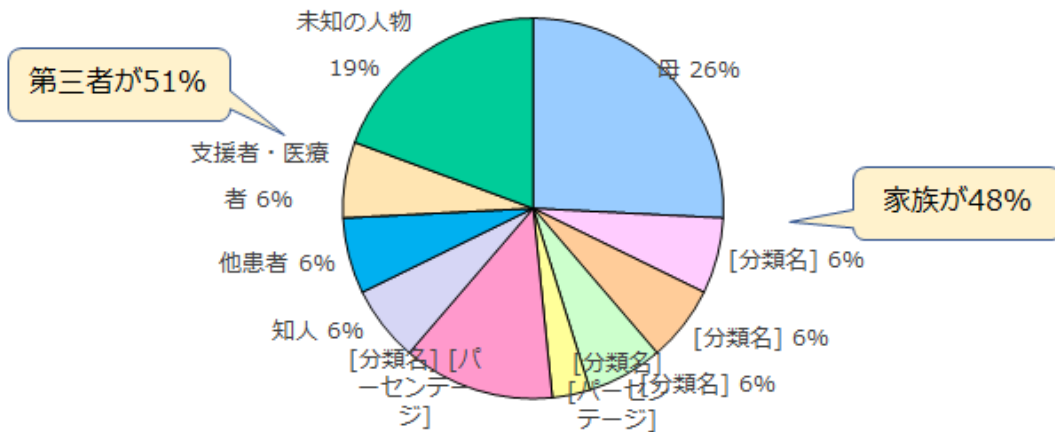


医療観察法における被害者



医療観察法は対象者の社会復帰を目的としたものであるが、対象者の治療・ケアに関わる医療者・支援者は、そこに被害者がいることを忘れてはならない

直接的な被害者（放火を除く）



医療観察法における「家族」

- 対象者の家族は、...

しばしば **加害者の家族** であり、
直接的な被害者 でもあり、
被害者の家族 でもあり、
 ときには **遺族** でもある。

- 家族は、罪責感、後悔、無力感、恐怖、トラウマ、怒り、恥などさまざまな感情を抱え、自身の治療、転居、損害賠償、失業など複数の困難に直面する。
- しばしば、誰にも相談できず、孤立してしまう。
- 非常に特殊でストレスフルな状況に置かれた家族に対して手厚い支援が必要である。

医療観察法における家族支援

- 医療者から家族への丁寧な説明
 - 社会復帰調整官だけに任せない
 - 精神保健福祉士だけに任せず、すべての職種で
- 家族への心理教育
 - 遠方で来院できない家族に対しても
 - オンラインなどの工夫
- 家族との面会の際の配慮（特に家族が被害者の場合）
 - 家族の恐怖心、トラウマなどに目を向ける
- 家族の集い・家族会
 - 一般の家族会にも参加しにくい家族の心情の理解
 - 保護観察所や指定入院医療機関で家族の集いを行っていることもあるが、単発であったり、期間限定的であるなど十分とは言えない。

はまなす会（家族の集い）

- ◆ 1カ月に1回、恒常的に家族の集いを開催
- ◆ 講義と座談会で構成。オンラインも可
- ◆ 毎月「はまなす会だより」を送付

対象行為の被害者が家族
: 39例中15例（38%）
放火を除けば48%、うち殺人が3例
(全国データでは被害者が家族・親族は約45%)

- ◆ 課題：参加家族が少ない。特に第三者が被害者のケースの家族が少ない。

家族支援を重視

コロナ禍でも面会制限せず。オンラインも活用
MDTが自宅訪問。PSWがきめ細やかに連絡



犯罪被害者等給付金の支給等による犯罪被害者等の支援に関する法律（犯罪被害者等給付金支給法：犯給法）

犯罪被害者等給付金

遺族給付金

重症病給付金

障害給付金

対象

故意の犯罪行為により不慮の死を遂げた犯罪被害者の遺族又は重傷病若しくは障害という重大な被害を受けた方

制度の概要

国が犯罪被害者等給付金を支給し、犯罪被害等を早期に軽減するとともに再び平穏な生活を営むことができるよう支援するもの

申請可能期間

犯罪行為による死亡、重傷病又は障害の発生を知った日から2年を経過、または発生した日から7年を経過すると申請できない

犯罪被害給付制度の改正

平成30年4月1日施行

親族間での犯罪に係る減額・不支給事由の抜本的見直し



犯給法施行規則第2条

犯罪被害者又は第一順位遺族と加害者との関係が夫婦、3親等以内の親族の場合は、当該各号に定める額を支給しないものとする。

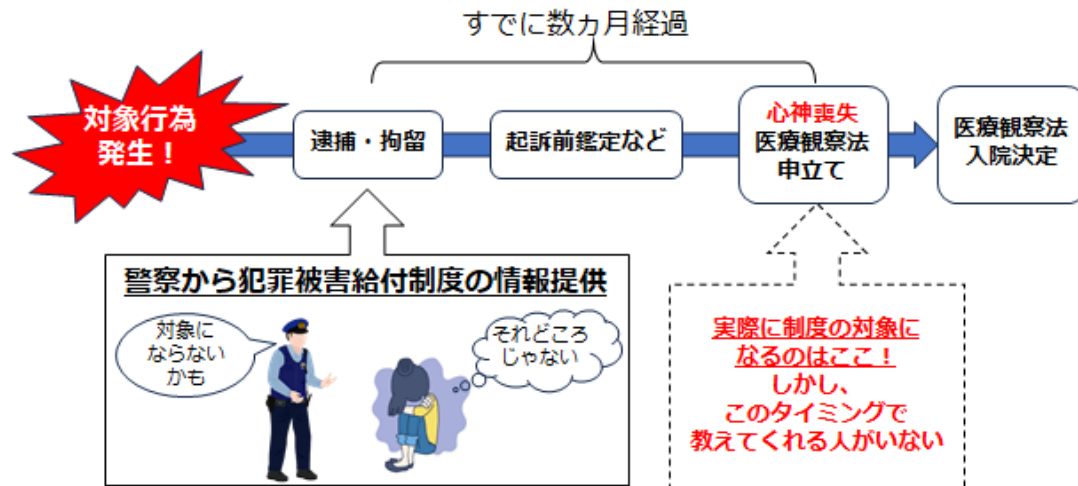
ただし、加害者が心神喪失の状態で当該犯罪行為を行った場合は、この限りではない。

令和6年6月15日施行

各給付金の支給最低額の一律引上げ、遺族給付基礎額の算定における加算の新設

➡ 遺族給付金の最低額**320万円→1,060万円**

課題：心神喪失と判断される時期は事件直後ではない



課題：制度が周知されていない

- 医療観察法の対象となる事件で、家族が被害者の場合
 - 家族が給付金について知らなかったり
 - 制度を知っていても、対象外だと思い込んでいたり
 - 加害者家族としての罪責感などから権利を行使することを遠慮したりする
- 医療観察法に関わる医療従事者、社会復帰調整官もほとんど知らない
 - ➡ 当センターのPSWが、さっぽろ犯罪被害者等援助センターの犯罪被害者支援講座で家族も対象となることを知る
 - ➡ 当センター入院患者の家族（遺族）で遺族給付金の支給決定となった事例
 - ➡ 全国の指定入院医療機関にアナウンス。全国研修会で発表

医療観察法における被害者支援のハードル

<医療観察法の目的>

- 医療観察法は、対象者に対する処罰を判断する法律ではなく、対象者の病状改善、社会復帰が目的。

<対象者の人権・個人情報保護への配慮>

- 審判は非公開、精神障害者に必要な配慮（第31条）
- 事件記録や証拠品の閲覧・謄写の禁止（第32条）

<被害者への配慮>

- 被害者の申し出があった場合は裁判所は審判傍聴を許可できる（第47条）
- 被害者の申し出があった場合は対象者の氏名・決定期日・理由等を示す審判決定通知書の交付（第48条）
- 必要に応じ、対象者の社会復帰を促進する観点から、対象者の同意に基づき、地域住民や被害者等に提供可能な情報の範囲を定める。
（地域処遇ガイドライン）

法務省保護局長通達（抜粋）（平成30年6月25日）

◆ 医療観察制度における被害者等に対する処遇段階等に関する情報の提供について

平成30年7月9日から実施

- 従来のガイドラインに加え、対象者の処遇段階等に関する情報について、被害者等からの情報提供の希望があった場合、保護観察所から提供することとする。
→ 令和6年1月からは、希望すれば定期的に情報提供
- 情報提供内容は、対象者の**氏名、処遇段階、担当保護観察所、通院処遇中の対象者と保護観察所との直近6ヵ月間の接触状況（面接及びケア会議の回数）**。
- 情報提供は、対象者の社会復帰の促進の見込みにかかわらず、また、**対象者の同意なく**、行うものであるが、情報提供することが相当でない認められる場合には、情報提供しないこと。

実施状況

平成30年	12 (件)
令和元年	11
令和2年	15
令和3年	30
令和4年	22
令和5年	29

第三者被害者への情報提供

- 元々、本人の同意があれば情報提供は可能であることが地域処遇ガイドラインに明記されている。

「必要に応じ、対象者の社会復帰を促進する観点から、対象者の同意に基づき、地域住民や被害者等に提供可能な情報の範囲を定める」

- ➡ 当センター入院患者で、被害者が第三者であるか、第三者所有の建造物放火の対象者に対して、「もし被害者や遺族から情報提供の依頼があった場合、同意するか？」と質問したところ、**社会復帰期ステージで退院前の患者では10名中9名が同意した。**
- ➡ 内省が深化し、リカバリーした患者では、同意する患者が多いのでは？
- ◆ 共通の同意書は存在しない。
- ◆ 実際に情報提供する際に誰がどこでどのように行うかは何も指針がない。
- ➡ 被害者の会、厚労省、法務省と共有して次のステップを検討中

医療観察法に関わる医療者・支援者が被害者支援に対して何ができるのか？

- 被害者や遺族、社会に対して説明のできる恥ずかしくない実践をしなければならない
- 対象者の治療を考える時に、被害者や遺族の視点を頭の片隅に入れておくべき
- 対象行為日（ときには命日）にMDTでの面談を組むなど、被害者側の立場を忘れさせないような取り組みを
- 被害者である家族に対するサポートにもっと力を入れるべき
- 医療者・支援者は被害者の声を聞く機会（講演会、書籍など）を積極的に持つべき
- われわれが被害者に対してできることは、対象者をしっかり治療して回復させることである